



人材育成フレームワークの活用事例

■人材育成事例紹介 case1.

AIの基本知識を学ぶ

ITサービスインテグレータ様 20名

お困りごと

- AIに関する知識不足により、お客様へ具体的な提案ができない
- AI知識の不足により、AI開発会社とのコミュニケーションが行えない

実施内容



●カリキュラム(1日間)



研修の目的

- AI基礎を幅広く習得して、AIに関する提案や会話ができるような知識を習得する
 - AIに関する基本知識
 - AIビジネスの動向
 - 活用事例
 - AIの仕組み、用語、現在のAIが行えること
- AI導入の基本的かつ全体的な流れを理解する
 - AI開発の流れ
 - AI企画・導入プロセス

研修のポイント

- 他者とのディスカッションの実施
 - 講座単元ごとにグループディスカッションを実施して、講座内容に関する情報共有を行う。これにより、自分自身の理解度の確認をし、他者からの情報共有によってより深い学びが得られる。
- AI案件に取り組むコミュニケーションの熟成
 - 本研修は、営業、技術、開発者など立場・役割の異なる方が一緒に参加いただける研修としている。
 - AI企画のワークショップも立場/役割の異なる方を同じグループにすることで、さまざまな視点で意見を交換し、それぞれの思いや意見を認識しあい、コミュニケーションの熟成を行う。

●事例

- AI技術(学習、アルゴリズム概要)



- ディスカッション&ワークショップ



●モデル作成の流れ



●AI導入の流れ



※実施内容の一部

講師の声

- 講座の流れが細分化されていくのでよかった。
- 事前に聞いていた知識の他、さまざまな事例が学べたことが良かった。
- これまでは独学での理解であったが、体系的に理解できたので今後の顧客への説明に活用したい。
- AIありきではなく、AIで業務に活かせる部分を探すところから始めるという話を聞き、今後要件に対してAIの観点で利用できるかを考えていきたい。
- 学習データの用意や前準備の大変さを知ったので、そもそもAIが必要なのか考えるときに今日の知識が使える。
- AIを活用して効率化できることが業務内に無いかと考えることはできると思う。ロジックツリーの要素分解はさまざまな事に活用できると思う。